

農林漁業における環境負荷低減事業活動の促進に関する高知県基本計画の概要

- 全国有数の施設園芸産地において、**IoTデータの活用やIPM技術の普及拡大に取り組むとともに、スマート農林漁業技術の導入加速化**や有機農業の拡大等を通じて、環境負荷の低減を図る。
- **環境負荷低減に取り組むモデル地区（特定区域）を設定し、地域ぐるみでの取組を推進する。**

【作成主体】 高知県及び県内全34市町村

【計画の主な目標】

- ・ 園芸用A重油使用量：R4年比約26%削減（R12）
- ・ IPM技術による防除面積率：R4年比約1.7倍に拡大（R11）
- ・ 有機農業の取組面積：408ha（R4年比約2.8倍）に拡大（R12）等

【取組のポイント】

- ・ データ連携基盤IoPクラウド(SAWACHI)を活用したデータ駆動型農業の推進による省エネ栽培技術の普及
- ・ 施設栽培での保温対策や効率的な加温方法による省エネ対策の普及
- ・ 天敵等を利用したIPM技術の普及

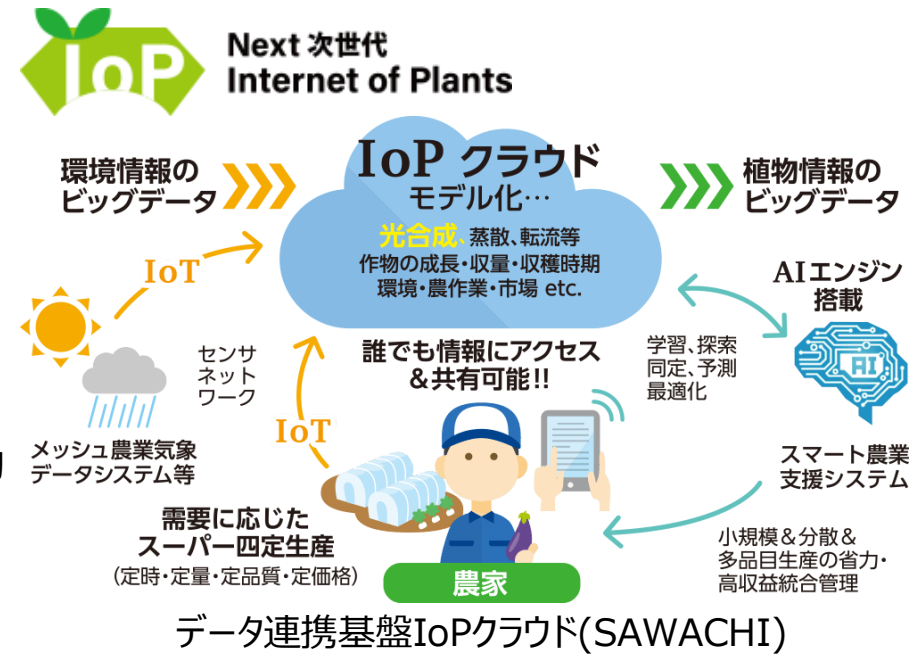
【特定区域の設定】

＜馬路村（全域）＞

有機ゆず加工品の開発と加工残渣を活用した有機農法の推進による有機ゆず産地の育成

＜本山町（全域）＞

バイオマス発電施設の廃熱・排ガスの施設園芸への利用によるGHG削減及びペレット堆肥の活用による環境負荷の低減



ヒートポンプの導入等による
省エネ対策



天敵を利用したIPM技術の
普及